



環境とのかかわり

コーセーは、「雪肌精」や「AWAKE (アウェイク)」といった各ブランドで、お買い上げに応じて環境保全活動を支援するキャンペーンを行っています。ゼロエミッションや、商品の開発段階で環境にやさしいモノづくりなどを進めるだけでなく、お客さまやお取引先さまとともに取り組む環境活動を実現しています。

雪肌精による環境保全活動 「SAVE the BLUE」

海の命を育むサンゴ礁を守るために

美しく、綺麗な水でしか育たないサンゴ。イソギンチャクやクラゲの仲間、海中の二酸化炭素を利用して石灰質の骨格を成長させ、海中に林のような姿で群生しています。サンゴ礁は、地球上の海のわずか0.1%の面積しかありませんが、共生している藻類の光合成によって酸素を排出しているため、海洋生物のおよそ4分の1の命を育てています。その生物多様性から「海の熱帯雨林」とも呼ばれています。

一方で、地球温暖化による海水温の上昇や、海洋汚染、さらにはオニヒトデなどの食害によりサンゴ礁の面積は年々減ってきています。特に、沖縄本島の周辺海域ではサンゴの死滅が著しく、沖縄本島周辺では、サンゴの海底を覆う割合が10%以下にまで減少した地域が8割にもなっています。



「SAVE the BLUE」
キャンペーン対象商品の一部

生態系を乱さない 「沖縄産」サンゴを植え付け

「SAVE the BLUE」プロジェクトは、多くのお客さまからご愛用いただいている「雪肌精」を通じ、継続的な環境保全活動につなげたいという想いから、サンゴの育成活動支援を2009年に始め、2011年で3年目を迎えました。「SAVE the BLUE」という名称には、ブランドを象徴するボトルの“瑠璃色”から連想される“美しい海”を次世代につなげたいという願いが込められています。

このプロジェクトは、過去2年と同様、化粧水の使用率が高い7月1日～8月31日の2カ月間にキャンペーンを展開し、お客さまに「雪肌精」1本をご購入いただくたびに、1ボトルの底面積分（レギュラーサイズで4cm×5cm＝20cm²に相当）のサンゴの育成活動費用を、沖縄の有限会社 海の種^{※1}へ寄付しています。

「海の種」では、すべて沖縄本島産のサンゴを種親とし、外敵のいない陸上施設で5cmほどに育て、生育環境の良い場所を選定して、1株1株手作業で海中に植え付けていきます。厳しい自然環境の中で、すべてのサンゴが100%育つとは限りませんが、植え付けから2年が過ぎると放卵し、次の世代へと命をつなぎます。

この「SAVE the BLUE」プロジェクトは、数多くの販売店さまにもご協力いただきました。店頭ディスプレ

COLUMN

大災害からの復興を願って、雪肌精で被災者を支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴って発生した津波や原発事故で、多くの方々が被害に遭われ、また多くの自然が破壊されました。

雪肌精は、2011年度の「SAVE the BLUEプロジェクト」において、未曾有の大災害によって被害に遭った東日本の環境整備・復興および被災された子どもたちにサンゴの移植に

必要な金額と同額の支援金を、認定NPO法人自然環境復元協会[※]をとおして寄贈します。

被災された方々の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

[※]自然環境復元協会は、約4万あるNPO法人のうち200ほどしかない認定NPO法人

いでサンゴを守る呼びかけを行い、日本全国で「SAVE the BLUE」を広くアピールしました。店頭美容スタッフからも、お客さまや販売店さまとエコ活動やボランティアなど社会貢献についてお話をする機会が増えたとの報告が届いています。

2年前に初めて植え付けたサンゴは順調に生長し、この6月には念願の産卵を迎えました。少しずつ、海の中で新しい命が育まれています。

^{※1}「(有)海の種」(沖縄県読谷村)は世界で初めて養殖サンゴの産卵に成功し、サンゴの森を広げる活動を行っています

2009～2011年の活動実績

	対象商品	植付面積	生育状況(一例 ^{※2})
2009年	7品	5,158,912cm ²	約5cm
2010年	15品	6,789,944cm ²	約17cm
2011年	17品	7,819,100cm ²	産卵

^{※2} 平均値ではありません

サンゴの生長の一例



VOICE

社会貢献活動をとおして、 誇りを持って仕事にまい進

コーセー化粧品販売株式会社 沖縄支店
サンエー経塚シティ店 下地 杏奈



2011年は、沖縄のサンゴ礁保全に加え、東日本大震災による被災地の海の環境整備・復興および被災されたお子さまへも支援することになりました。沖縄は、もともと「ゆいまーる」という「相互援助を順番にかつ平等にする」という習慣があり、私たち美容スタッフも被災地の皆さまに何かできるという気持ちに燃え、活動に取り組みました。販売店であるサンエー様も当社の主旨に賛同され、快くキャンペーン展開場所を提供して下さるなど、積極的にご協力いただきました。お客さまの評判も良く、「自分が愛用している化粧品を買うことが支援活動につながって嬉しい」「被災地に何か勇気を贈ればいいね」など、数々の声をいただき、社会貢献に役立っている誇りを持って仕事に励むことができました。被災地の皆さまのご健康と、1日も早い復興を願っています。